

大学の授業を公開します。学生と一緒に受講しませんか！

公開授業「環境問題」

講師 山口県立大学 国際文化学部 安溪遊地 他5名

「環境問題は専門家にまかせておくしかない地球レベルの問題だ」という”常識”を根本から問い直し、身近な環境問題を足元から解決するための知恵と経験に学びます。身の回りで何か問題が起こったら、と想像できる感性を育て、みずからの暮らしを守るために行動に移す勇気を培います。戦争こそが最大の環境破壊です。足もとからの環境と平和をつくることを目標のひとつとして、現場の声に耳を傾けます。マスコミには載らない情報に触れることで、さまざまなマインドコントロールを越えて、自分の生活そのものを再点検しながら深く考え、足下から暮らしと環境を変えていくきっかけをつかむ生活者を育てます。

◎日時 平成22年4月16日(金)～7月16日(金)

10:20～11:50

◎場所 山口県立大学6号館 F204教室 (裏面地図参照)

◎受講料 1回500円 10回以上5000円



プログラム

回	月日		授業項目
1	4月16日 (金)	出過ぎる杭は打たれない —この講義の進め方	環境問題といわれるもののほとんどは人権問題です。安心して暮らせる平和な環境を守るための身近な地球人たちの痛快なチャレンジを紹介します。
2	4月23日 (金)	まゆつばの技術—マスメディアのマインドコントロールに負けないために	眉に唾をつけると、狐や狸にばかされても目が覚めるという。なぜマスメディアが報道しないことに踏み込んで考えてみたい。
3	4月30日 (金)	消えた鎮守の森で—生活者としてできることを求める福田雅美さんの声	静かな住宅地で、鎮守の森の山をまるごと削る大規模工事。埃と振動に苦しむ年月のあと、そこに米軍の住宅がくると知った時、岩国の住民たちは動き始めた。
4	5月7日 (金)	島は誰のもの—ヤマネコの島からの問いかけ	イリオモテヤマネコで有名になった西表島。ほとんど無人島のように思われている島に暮らす人々に学び続けた、自然との共存の知恵を語る。
5	5月14日 (金)	グローバルからローカルへ—「半農半X」の楽しみを生きる	アフリカの自然の循環の中でいきる人々に出会い、山口の地で自給的な暮らしをしながら、本物をお菓子や幼稚園をつくるという仕事に取り組む多布施の太下さんの物語。
6	5月21日 (金)	スローな暮らし・スローな食べ物・スローな観光をめざす白松さんの取り組み	いなかには都市が忘れてしまった大切なものがある。それをみつけにきて、その知恵をみにつけよう。

(裏面に続く)

7	5月28日 (金)	あったか村においてよ一人の健康・地域の健康・地球の健康を守る	日本海側の阿武町に、あったか村という地域おこしの拠点があります。そこでとりくまれている活動を紹介しします。
8	6月4日 (金)	スペイン・ナバラの農家民宿と自然エネルギー	山口県と姉妹提携しているスペインのナバラ州では、グリーン・エネルギーとグリーン・ツーリズムの取り組みが盛んで、元気がもらえる。
9	6月11日 (金)	アフリカの森と屋久島の森を守る人々との交流	どのような困難の中でも、希望を失わず自然との共存に生きる人々の生き様に学ぶ。
10	6月18日 (金)	瀬戸内海がよみがえる日	瀬戸内海最高の海と原発予定地の自然が破壊されていく現状の報告。NGOのこれまでの取り組みをとこれからについて。
11	6月25日 (金)	大規模開発につける薬はあるか—学者・生活者の役割	日本生態学会で3度「大規模開発につける薬」というシンポジウムを主催した。良薬は口に苦し。しかし、薬がなければわれわれの暮らしが滅びるのである
12	7月2日 (金)	安心安全の暮らしのために(1)	それはほんとうに安心して食べられるものか、例えば10週間も腐らないポテトチップス。例えば半年もかびないレモン。例えば……。食べ物から暮らしを見直すための提案。
13	7月9日 (金)	安心安全の暮らしのために(2)	いま何が一番危機なのか。いま何をしなければならないのか。
14	7月16日 (金)	いま足下からできること—小さな森に県産材で建てた価格破壊住宅で	安溪遊地担当。県産材の産直で建てた価格破壊の自然住宅づくりと「第三種兼業農家」としての四季の暮らし。そして、そこに突然起こったごみ処分場騒動の顛末。

●**受講方法** 全講座の受講者には山口県立大学公開授業受講修了証書をさしあげます。1日だけの部分受講もできます。必ず事前に申し込みをお願いします。

●**申し込み**

1) 申込先 〒753-8502 山口市桜島3丁目2-1
山口県立大学附属地域共生センター生涯学習部門
TEL/FAX 083-928-3495

2) 方法 上記申し込み先まで、氏名・住所・郵便番号・電話番号をお知らせください。(はがき、電話、FAXでも可)

3) 締切 平成22年4月12日(月)

4) 受講通知 講座開始前に各自へお知らせします。

♪♪この講座に関するお問い合わせは
山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門
TEL/ FAX 083-928-3495

